

學 會 彙 報

○昭和五十一年度漢文學會總會

〔漢文教育研究會〕七月三日（土） 於都立練馬高校

一、研究授業

高校二年漢文「漢楚の興亡・項王の最後」

練馬高 加島 直吉氏

二、研究會

第一部

挨拶

教授者説明、質疑應答、討論

第二部

シンポジウム「古典Ⅱ乙漢文の指導について」

問題提起者 國立高 金子 泰三氏

〔研究發表會〕七月四日（日） 於東京教育大學

一、鄭玄の「獲麟」解釋について

學習院高等科 間嶋 潤一氏

一、顔之推の文學について

東京學藝大附屬高 安藤 信廣氏

一、北京語聲調の音韻論的解釋

大學院 相原 茂氏

一、「娟娟」考

大學院 櫻田 芳樹氏

一、元好問の喪亂詩について

國學院大學 中村 嘉弘氏

一、中國蓮觀考

國學院大學 中野 達氏

司會 高橋、加藤、横山、松本、内山委員

〔總會〕司會 内山委員

一、議長選出 水澤利忠氏選出

二、報告

庶務、研究一部、研究二部

三、議事

(1) 昭和五十年年度決算

(2) 會則改正案提案

(3) 委員改選

牛島徳次、水澤利忠、内山知也、田部井文雄、横山伊勢雄、高橋均、中村嘉弘、向島成美、中村俊也、櫻田芳樹氏選出

芳樹氏選出

(4) 懇談

四、委員長挨拶

○昭和五十二、三年度委員會事務分擔

委員長 牛島徳次

研究Ⅰ（月例會） 横山伊勢雄、向島成美

研究Ⅱ（學會報） 水澤利忠、中村嘉弘

漢文教育 田部井文雄

會計 内山知也、中村俊也

庶務 高橋均、櫻田芳樹

○昭和五十一年度月例會

十一月十三日（土） 於東京教育大學

一、柳宗元の文學——孤絶者の幽憤—— 大學院 松本 肇氏

一、阮籍詠懷詩の表現構造について 東京工專 大上 正美氏

十二月四日(土) 於東京教育大學

一、故事新編について——魯迅の個人主義と民族主義

和光大 伊藤 虎丸氏

二月十九日(土) 於東京教育大學

一、一九二七年—一九二九年の創造社——郁達夫を中心として

東大大学院 小谷 一郎氏

一、謝榛の詩法について

○昭和五十一年度修士論文題目

一、章炳麟におけるニヒリズムの由來について

一、陳子昂詩論

一、中國語の狀語について

○昭和五十一年度卒業論文題目

一、蔡元培研究

一、水滸傳研究

一、法家再考

一、中國の教育革命

一、王昌齡研究

一、曹子建論

一、中國の神話

一、墨子研究

一、陸機の擬古詩について

一、近世日本の中國俗語研究

一、茶經研究

一、王陽明の哲學思想

一、李煜詞の研究

守屋 一幸

○諸橋轍次先生が昭和五十一年秋の紋勳で、勳一等を受けられました。およろこび申し上げます。

○仲澤哲氏(教育大第八回)が、昭和五十一年十一月八日なくなりました。つつしんでおくやみ申し上げます。

○仲澤哲氏(教育大第八回)が、昭和五十一年十一月八日なくなりました。つつしんでおくやみ申し上げます。

○仲澤哲氏(教育大第八回)が、昭和五十一年十一月八日なくなりました。つつしんでおくやみ申し上げます。

長瀬 瑞己

加藤 敏

筒井大三郎

阿川 修三

小松 建男

西郷 直樹

佐藤 雅一

鹽澤 節子

篠原 有太

鈴木あさ美

高岡 正幸

高野由紀夫

中田 嘉種

藤尾 純子

松岡 香

吉仲 重典

日本漢学年表

斯文会編

■本書は、『日本儒学年表』（斯文会編、大正十一年刊）を全面的に改訂し、昭和四十五年（一九七〇年）まで取れたものである。

■各時代の特性も配慮し、漢学欄と一般欄のほかに、江戸時代については人物欄を設け漢学者（没年）が一覧できるようにし、明治以降については書誌欄を設け、それぞれ研究者の便をはかった。

〔付録〕

▼日本年号索引

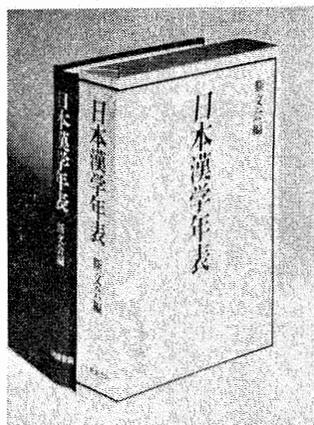
五十音順による年号検索ができる

▼平安室町期博士家略系図

藤原二家、菅原、大江、清原、中原の六家が一覧できる

▼江戸時代漢学者人名索引

五十音順によって江戸時代の漢学関係者が検索できる



菊判・上製函入・548頁9,200円

阿部吉雄	一八六八年以後
山本武夫	一六〇〇年以前
翠川文子
頼惟勤	一六〇一—一八六七年
藤井明
若林力
鈴木三八男	一八六八年以後
巨勢進
広野行甫
倉田信靖
麓保孝
新開高明
鎌田正
進講・識語・改元勘文類

欧亜關係

○東京教育大學漢文學會々々

後記

東京教育大學は、來年三月をもつて閉學となります。ここに學んだ者にとつて、いよいよのなほ悲しみを懷かざるをえません。學會の今後のあり方についても、最終的な決着を迫られています。本號もまた共立社に印刷をお願いし、大會開催と時を同じくして會員諸氏におとどけすることができました。印刷所の皆様に御禮を申し上げます。

(中村記)

- 一、本會は東京教育大學漢文學會と稱し、事務所を東京教育大學漢文學研究室に置く。
- 二、本會は漢文學及び漢文教育の研究と普及とを圖るのが目的である。
- 三、本會の會員は左の通りである。
 - 1 東京教育大學漢文學・東洋文學及び東京文理科大學、東京高等師範學校の漢文學關係教官(退官者を含む)
 - 2 東京教育大學漢文學大學院中國古典學專攻學生及び卒業生、並に東京文理科大學漢文學・東京教育大學東洋文學專攻卒業生
 - 3 その他入會を希望する者
- 四、本會の主な事業は左の通りである。
 - 1 總會 年一回
 - 2 例會 年約七回
 - 3 會報及び會員名簿の發行
 - 4 その他必要な事項
- 五、本會の役員は左の通りである。

委員長 一名
- 委員 若干名
- 六、委員長は本會を代表し委員とともに運営に當る。
- 委員は本會の研究・庶務・會計を分擔する。
- 七、委員長は委員の互選による。
- 委員は會員からの互選によつて十名を選出する。但し必要のある場合にはそのほかに若干名の委員を委嘱することができ、その任期は二年とする。但し重任は差し支えない。
- 八、會員は會費年額一千五百圓、(但し學生は半額)を納める。
- 九、本會會則の變更は委員會の審議を経て、總會出席者の過半数の承認を得なければならぬ。

漢文學會々報第三十六號

昭和五三年六月二〇日印刷
昭和五二年六月二五日發行

東京教育大學漢文學會

編輯者

水澤利忠
中村嘉弘

印刷所

東京都千代田區神田神保町三ノ二〇
株式會社 共立社印刷所
電話 二〇〇二八

發行所

東京都文京區大塚三十一廿九一
東京教育大學漢文學會
振替東京五一四七六〇〇番